

海外安全対策情報（2020年1月～3月）

在ベネズエラ日本国大使館

1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、本年1月～3月の間に発生したデモ件数は1,977件で、前年同期（6,211件）比で約70%減少した。

デモで最も訴えられた内容について、1,2月は住居や公共サービス（電気、上下水、家庭用ガス、ゴミ収集）の向上を求めるものであったが、3月は野党系国会議員が国会審議の日に召集したデモ行進や、与党支持者等によるベネズエラ高官に対する米国の制裁を拒絶する動きなど、政治関連のデモが最も多かったが、その後新型コロナウイルスに対応するための適切な医療環境や、予防のための公共サービスの回復を訴えるデモが相次いだ。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）全般

当地治安当局によれば、本年1月～3月の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で26%減少しているが、減少理由として、経済状況の悪化に比例した犯罪件数の減少もさることながら、3月については新型コロナウイルスの蔓延予防を目的に社会的集団隔離措置が執られたことにより、国民は外出を制限された上、不要不急の外出を統制するべく全国各地に配備された軍・警察等の検問によるところが大きいと見ている。

（2）各論

社会的集団隔離措置以降、保健当局職員等を騙り、マンションの消毒をすとの名目で家屋等敷地内に侵入して敢行される侵入窃盗が多発している。また、同様の手口で侵入した上で、駐車車両からガソリンを抜き取る、バッテリーを窃取するなどの手口も増加している。

（3）邦人及び邦人以外の被害事案

なし

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当地治安当局によれば、経済のドル化が定着しつつある現在、身代金はドルで要求されるとのことである。ベネズエラ人であっても、街頭でドルを使用して買

い物をしている現状であり、誘拐事件の対象は必ずしも外国人に限られず、実際、被害者の割合は外国人よりベネズエラ人が多いとのことであるが、被害に遭わないためには、「目立たない」、「用心を怠らない」、「行動を予知されない」の3原則を守る必要がある。